

§ 例会の報告・案内 §

◆12月例会：12月21日（金）

例会後、「大庄水産」京急鶴見店で忘年会をしました。昨年、藍綬褒章を受章された新田さんへお祝いの花束をお贈りしました。そして、新たな年の楽しい企画などに花が咲き、大いに盛り上りました。

◆1月例会：1月31日（木）

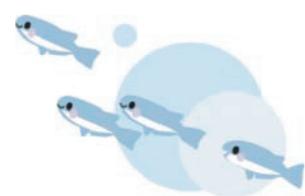
今年最初の例会では、25年の年間スケジュールを確認しました。5/18三ツ池公園環境フェスティバル、5/12源流祭、5/25 キリンビール横浜工場クリーンアップ、6/8鶴見川クリーンキャンペーン、7/13わんぱくカヌー体験＆生きもの観察、8/24 鶴見川サマーフェスティバル、9-10月駒岡河川敷合同クリーンアップ作戦、10/5?鶴見川クリーンキャンペーンなど。

◆2月の例会予定：2月28日（木）

19:00から鶴見区社協会議室です。各団体事務局のアドレス登録をお願いいたします。3月の定期例会は3/28(木)を予定しています。詳細については追ってご連絡いたします。



みんなの笑顔がこの一年楽しく活動できた証。来年もがんばろう！



§ 編集後記 §

このたび「下流ネット・鶴見 かわらばん(川原版)」の編集担当になりました、貝殻浜生物調査隊・事務局長の石川紫穂です。どうぞよろしくお願ひいたします。

私が家族と一緒にTRネットの活動をはじめたのは四年前。最初に定期活動に参加したのは、駒岡河川敷でした。以来、源流から河口までたくさんの活動に参加してきましたが、私の活動の原点は、やはり「下流ネット・鶴見」です。これからも連携TRネット・水マス推進センターとしての責任を担う活動をしていきたいと願っています。そして、「下流ネット・鶴見」で活動してくださる人が増えるよう、願いを込めて編集に携わっていきたいと思っています。

新しい年の訪れとともに、今まで参加団体個々に発行していた通信をサブネットの通信としてまとめ、発行することになりました。これを機に、また新たな気持ちで活動していくことが出来そうです。「下流ネット・鶴見」参加団体、また連携TRネット各団体のみなさま、これからのお『下流ネット・鶴見 かわらばん(川原版)』にご期待下さい。また、あたたかいご支援・ご協力をお願い致します。

「下流ネット・鶴見 かわらばん(川原版)」 編集担当：石川 紫穂(貝殻浜生物調査隊)

*次号は4/10発行予定です

下流ネット・鶴見 かわらばん(川原版)

第一・二号合併号 2013/2/18

発行 下流ネット・鶴見

編集担当 石川 紫穂

祝!! 「下流ネット・鶴見 かわらばん(川原版)」

下流ネット・鶴見 代表 大澤 浩一

「下流ネット・鶴見 かわらばん(川原版)」を発行することになりました。下流ネット・鶴見は、下流の鶴見を中心に活動する団体で、鶴見川流域ネットワーキング（TRネット）のサブネットワークとして1997年12月に設立し、これまで15年の活動を行ってきました。現在では生麦河口干潟と駒岡河川敷での毎月の定期活動をはじめ、鶴見川新春ウォーク下流区間のガイドと終着地点での歓待企画、7月の河口干潟イベント、8月の鶴見川サマーフェスティバルでの川イベント、秋の合同クリーンアップなどの年中行事を行いつつ、近隣小学校の学習支援や鶴見学等での支援も行っています。節目の年に発刊される下流ネット・鶴見の通信は、私たちの活動の記録とともに、対外的に責任を持って活動していくことの証となるでしょう。さらに、新たな仲間づくりにもつながることを期待しています。この「かわらばん(川原版)」は、隔月発行予定で、定期活動やその時々の下流ネット・鶴見関連の取り組み、関連情報などを紹介していくので、ご支援・ご協力ください。

§ 下流ネット・鶴見 参加団体紹介 §

△▼〈鶴見川を楽しくする会〉 代表 大澤 浩一

当会は、1987年2月に鶴見で設立され今年で25年になります。鶴見川を「釣った魚が食べられる、泳げる川」に再生し、川を活かしたさわやかなまちをつくることを目的に活動しています。毎月第2土曜日の流域の各地を訪ねる「鶴見川歩き」をはじめ、下流ネット・鶴見の参加団体と一緒に駒岡河川敷および生麦河口干潟での定期活動(清掃、生きもの調査等)を行うとともに、河川管理者や鶴見区等の行政や企業とのパートナーシップによるイベントやウォーキング、勉強会などを行っています。また、TRネットや下流ネット・鶴見の参加団体等の川仲間と交流し、流域規模の活動にも参加しています。



【鶴見川を楽しくする会】



【貝殻浜生物調査隊】

△▼〈貝殻浜生物調査隊〉 代表 山崎 一弘

昨年3月、隊員3名で発足した「貝殻浜生物調査隊」ですが、今年度よりTRネット正会員に登録し岸由二先生を顧問に迎え、現在は隊員14名で活動中です。

河口干潟の生きもの調査を専門に、若者からベテランまで楽しく活動しています。今年は、5回の夜間調査も実施。ちょっとあぶない集団・・・と思われるような深夜にも調査を決行。結果は上々でした。また、調査で捕まえた生きものは、流域センターに搬入もしています。東京湾水槽・下流水槽・特別展示水槽などに河口干潟の生きものが展示されています。流域センターに足を運んで、ぜひご覧ください。

貝殻浜生物調査隊は毎月第一日曜日に定例調査を実施していますが、現在は非公開の活動となっています。調査活動に興味のある方は、事務局・石川紫穂までご連絡ください。また活動の様子はfacebookにて公開しています。随時更新中です。

△▼〈鶴見川に鯉のぼりを群泳させる会〉 代表 浅見 仁信

市民、鶴見川流域の皆様がもっと大勢川に足を運んでほしい。運んでもらえるようにしたい。川がおもしろいと言われるようにしたいと思います。そして皆様と共に、子どもたちのすこやかな成長と市民の夢をのせて鶴見川上空に鯉のぼりを群泳させたいと願って、平成13年2月14日設立。森永橋、河口干潟等で地域住民、市民団体、行政の御協力をいただきながら鯉のぼりを泳がせ、またTRネットによる「鶴見川流域クリーンアップ作戦」に毎年参加しています。

設立当時からの想いである群泳期間中のシーバスの運行、マーチング演奏の実現に向けPR活動を活性化し、尚一層のクリーンアップ活動に邁進してまいります。

鯉のぼりは、河口干潟・三ツ池公園フェスティバル・駒岡河川敷イベントで個人様等にご寄附いただいたものです。現時点80匹を目標に活動中です。皆様の御賛同、御協力をお願い申し上げます。



【鶴見川に鯉のぼりを群泳させる会】



【230ハイキングクラブ】

△▼〈230ハイキングクラブ〉 代表 山田 潤二郎

230ハイキングクラブの230って、なあに?鶴見在住の方ならすぐわかると思います。そうです鶴見の郵便番号〒230です。

この会がスタートしたのは、1991(平成3)年の秋。鶴見区在住の有志7人が中心になって結成。発足後は鶴見川の流域を踏破したり、横浜の「市民の森」をくまなく歩いたりしていましたが、段々活動範囲が広がって首都圏にも足を伸ばすようになりました。

昨年めでたく創立20周年を迎え、これからもさらに歩いて、会員の健康と親睦を向上させようと頑張っている所です。

- ・活動内容:クリーンアップ(ごみ:15袋)

- ・調査結果:後半雨天となり調査は中止



矢上川合流部の風景 寄り州とアシ原の風景 河川敷の風景 今年最後のクリーンアップ

◆1月27日(日) 10:00~12:00

- ・参加者:大澤、平山、石川
- ・活動内容:クリーンアップ(ごみ:6袋)、生きもの調査
- ・調査結果:アベハゼ35mm(1)(同定・計測、記録:石川)
- ・特記事項:潮が満ちており、残念ながら生きもの調査の成果はアベハゼ1匹のみでした。



壊された排水口の侵入防止柵 人の出入りが気になる護岸の勾配 陽の光を浴びるヒガンバナ マンション窓の反射光を受けて

鶴見川新春富士見ウォーク2013 報告

1月12日(土)、19日(土)に新春富士見ウォークが開催されました。両日とも天候に恵まれ新春にふさわしいウォーキングとなりました。2日目午後、下流ネット・鶴見のガイドで綱島をスタート。終着地河口干潟にはまだ明るいうちに到着でき、参加者に干潟の風景を見ていただきました。新田さんより、歓待企画の流域鍋の紹介をしていただき、参加者に召し上がっていただきました。また、りんかい日産建設様よりビールの提供もいただき、参加者は満足して帰路につかれたことでしょう。今年もよいスタートが切れました。下流ネット・鶴見のスタッフの皆さん、関係者の方々、お疲れ様でした。



夕陽に向かって河口を目指す 新田さんより流域鍋の紹介 流域鍋に舌鼓を打つ参加者 お出迎えの手づくり灯籠

貝殻浜生物調査隊 活動報告

貝殻浜生物調査隊は、毎月第一日曜日を定例調査としています。干潟の調査は潮に左右されるため、二月より活動時間を潮目に合わせることになりました。夜間調査になってしまふことも多く、冬の時期は寒さとの戦いです。しかし、潮の良いときに調査をすると良い成果を上げることが出来ます。暗い干潟にウエダーの集団は少々怪しげですが、メンバーはみな真剣に調査に取り組んでいます。次号からは、調査報告も掲載いたします。どうぞ、お楽しみに。



今年最後の活動に多くの方が参加

干潟のクリーンアップ、透真くんの草刈り？

採取した生きものを囲んで

◆1/27（日）10:00～12:00

- ・参加者：大澤、平山、浅見、山崎、石川、五十嵐、繩嶋、りんかい日産建設（高木さん）、三上さん家族、橋立さん家族 計 13 人
- ・活動内容：クリーンアップ（ごみ：10袋十段ボール）、生きもの調査
- ・調査結果：ウロハゼ 80mm(1) 75mm(1) 65mm(1)、チヂブ 75mm(1) 63mm(1) 52mm(1) 50mm(2) 47mm(2) 30mm(1)、スミウキゴリ 65mm(1)、マハゼ 150mm(1)、スジハゼ 30mm(1)、ミニズハゼ 65mm(1) 50mm(1)、ボラ 25mm(1)、イソテッポウエビ 10mm(1) 8mm(1)、テッポウエビ 15mm(1)、ユビナガシエビ 15mm(4) 12mm(3) 10mm(4) 7mm(3)、タカノケフサイソガニ 6～20mm(15)、アサリ 35mm(1) 30mm(1)、モノアラガイ (2)、イソコツブムシ(1)、クラゲ(1)でした（同定計測：石川、記録：大澤）。
- ・特記事項：干潟の下流側の侵食が一段と進み、中間部は逆に退席しているようでした。



干潟下流側が一段と侵食が進行

新年最初のクリーンアップ

生きものの計測に見る 新春の干潟は多くの生きもので賑やか

駒岡河川敷 定例活動報告

◆10/20(土) 10:00～14:00

- ・参加者：大澤、中村、石川
- ・活動内容：クリーンアップ、植物調査、魚類調査
- ・調査結果：オオクチバス 67 mm(1)、コトヒキ 33 mm(1) 32 mm(1) 30 mm(1) 29 mm(1) 25 mm(1) 23 mm(1) 20 mm(2)、マハゼ 78 mm(1)、アベハゼ 15 mm(1) 13 mm(1)、モクズガニ 57 mm(1) 17 mm(1)（同定・記録：石川）



中村さんによるヒガンバナ保全作業 川よりの確認されたカントウヨメナ サナギになる？直前の幼虫 この日採取されたマハゼ、コトヒキ等

◆12月 15 日（土）10:00～12:00

- ・参加者：大澤、平山、石川、りんかい日産建設（荒木さん）

△▼〈環境ワンダーランド〉 代表 金子 セツ子

環境ワンダーランドは、平成 4 年鶴見区の支援を受け生涯学習として設立。環境問題をテーマに講演会や工場見学、鶴見川の源流や小網代湾のアカテガニの観察など楽しく学び、二年後に活動団体として発足しました。鶴見川クリーンアップ参加を機に、下流ネット・鶴見に仲間入りしました。会員は主婦が多いため「“もったいない”（元祖？です）と思いませんか？」をキャッチコピーとして、古着を回収し、リサイクルフリーマーケットを年 2 回、二十年間続けてきました。収益金は資金難や発足したばかりの団体に援助資金として、十数団体に寄付をし続けてきました。

最近は高齢化で会員が減少し、また参加可能なフリーマーケット会場もなくなり、豊岡小学校のクリーンアップ支援や鶴見川新春ウォークの歓待鍋つくりなど、年間活動も縮小してきました。が、会員同士はとっても仲良しで、「活動はなくとも解散しない」と、親睦会になりつつあります。



【環境ワンダーランド】

△▼〈バクハウス〉 代表 平山 康弘

バクハウスは、有限会社流域法人バクハウスという会社の中での、川で活動する有志の団体です。現在はメンバーが少ないため、鶴見川を楽しくする会と下流ネット・鶴見の活動に参加しています。生麦河口干潟、鷹野大橋下右岸での月に 1 回の定例活動では、機材などの運搬の一部などを担当しています。普段からもう少し子どもや若い方が活動に参加して下さるとよいなと感じていますが、自分の会すらも、なかなかうまくいきませんね。新年こそは、大勢の若い方々と鶴見川で活動していきたいと考えていますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

△▼〈NPO法人流域自然研究会〉 代表 岸 由二

TRネット設立に先立つ 1990 年夏、鶴見川源流自然の会（1988～）を基盤として「鶴見川流域ナチュラリストネットワーク」という組織が立ち上がりました。横浜市港北区が 1989 年に出版した「生きている鶴見川」という写真冊子がきっかけで交流の始まりた、横浜と町田のナチュラリストの流域規模の交流組織でした。その後その事務局が「鶴見川流域自然研究会」を名乗ったのですが、1997～8 年にかけて環境省のすすめた「生物多様性保全モデル地域計画（鶴見川流域）」でパンフレット作成事業を受けるにあたって「流域自然研究会」の名称となり、つづいて 2003 年に NPO 法人格を獲得して、いるか丘陵に関わる諸事業・イベントの一部を支援担当するようになりました。その一環として下流ネット鶴見にも参加し、以前は生麦干潟の生物調査の主力ともなってきたものです。昨年来、諸業務調整の時代に入り、本年 3 月末には npo TR ネットと合併し、任意団体にもどる予定。今後の仕事の展開、あらたな検討に入ります。今後の展開に、乞う、ご期待。

△▼〈契約栽培グループみどりの会〉 代表 新田 弘子

△▼〈かぜ草の会〉 代表 中村 京子

△▼〈DCC 土光カヌークラブ〉 代表 土光 陽一郎

△▼〈鶴見歴史の会〉 担当 鈴木 富雄

△▼〈鶴見川流域史研究会〉 代表 鈴木 富雄

下流ネット鶴見、全 12 団体で活動してまいります。よろしくお願ひいたします。

*今回紹介出来なかった団体については、次号以降で改めて紹介します。

〈鶴見川桜・緑いっぱい運動への参加〉

鶴見区のシンボルである鶴見川を快適で緑豊かな環境にしていくことを目的に、区民の呼びかけで平成 15 年に活動開始。鶴見区と区内の関連団体などが集まり、鶴見川桜・緑化実行委員会を作り、鶴見川沿いに桜などの植樹と維持管理などの活動を行っています。下流ネット・鶴見はこの実行委員会に参加し事務局をお手伝いしています。実行委員会では、TR ネットの「鶴見川流域クリーンアップ作戦」と連携して、川沿いのクリーンアップや緑化、環境学習の推進などの活動を行っています。また、桜マップの制作・配布、桜の名札づくりなど、区民の誇りとなる鶴見川を活かしたまちづくりに取り組んでいます。

平成 24 年度より実行委員会が中心となり、自治会・町内会・企業・各種団体・学校・区役所と連携をはかりながら、年 2 回のクリーンキャンペーンを定期開催することになりました。(記:浅見)



鶴見川桜・緑いっぱい運動でのクリーンアップ

§ 下流ネット鶴見・トピックス §

新田弘子さん「藍綬褒章」受賞おめでとうございます

契約栽培グループみどりの会の新田弘子さんがこの春、藍綬褒章を受章され、その祝賀会が昨年 10 月 13 日にパシフィコで行われ、大澤と金子さんとでお祝いに行ってきました。新田さんは、私たちの川の活動では新春ウォークなどのイベントでなんの苦も無く 100 人、200 人分のお鍋をさっと作ってしまう川のイベントではなくてはならない存在ですが、このお祝いの会に出席して新田さんの人柄、交友の広さに改めて驚かされました。新田さんは 1989 年より行政相談員を続けられ、相談件数年平均 150 件と神奈川県下ではトップクラスとのことで今回の受賞となりました。

すでに大臣表彰も 2 度受賞され、一方で川の団体初め区内の様々な団体との交流や横溝屋敷の事務局長などを務められており、その活躍ぶりは誰もが知るところです。まずは受賞おめでとうございました。(記:大澤)



受賞を祝う会で喜ばれる新田さん

§ 下流ネット・鶴見 定例活動報告 §

生麦河口干潟 定例活動報告

◆10/6(土) 14:00~16:00

- ・参加者：大澤、鈴木、平山、浅見、三上さんご家族
- ・活動内容：クリーンアップ、生きもの調査
- ・調査結果：チチブ 40mm(2)、アベハゼ 10mm(1)、イソテッポウエビ 15mm(2)、ユビナガスジエビ 10mm(1)、テナガエビ 15mm(1)、モクズガニ 60mm(1)、タカノケフサイソガニ 2 ~15mm(38) でした (同定・計測：平山、記録：大澤)。

- ・特記事項：同日午前に第 2 回鶴見川クリーンキャンペーンが行われたので午後に定例活動を実施。



干潟のクリーンアップ

三上さん親子で参加

大きなモクズガニにとまどう弟

お兄ちゃんは満足げ

◆11/4(日) 14:00~16:00

- ・参加者：大澤、平山、浅見、あきら、五十嵐さん、荒木さん (りんかい日産建設)、一般参加者 3 名
- ・活動内容：クリーンアップ、生きもの調査
- ・調査結果：ウロハゼ 115mm(1) 85mm(1) 80mm(1) 75mm(1) 65mm(1)、チチブ 60mm(1) 50mm(1) 35mm(2)、イソテッポウエビ 25mm(1)、テッポウエビ 20mm(1)、ユビナガスジエビ 15mm(2) 10mm(2)、タカノケフサイソガニ 1~18mm(11)、ケフサイソガニ 15mm(1) 10mm(1)、ホンドヤドカリ(2) でした (同定・計測：大澤、記録：平山)。

- ・特記事項：綱島からカヌーで下ってきた親子がいました。



干潟と周辺のクリーンアップ

干潟下流側の保全整備作業状況

親子連れの参加

採取されたウロハゼなど

◆12/23 (土) 10:00~12:00

- ・参加者：大澤、鈴木、平山、浅見、山崎、石川 (日出郎、紫穂)、五十嵐、繩嶋、りんかい日産建設 (高木さん、荒木さん)、三上さん家族他 計 15 人
- ・活動内容：クリーンアップ (ごみ：袋)、生きもの調査
- ・調査結果：チチブ 60 mm (1) 55 mm (1) 50 mm (1) 45 mm (1) 35 mm (4) 30 mm (3) 25 mm (3)、ミミズハゼ 70 mm (1)、タカノケフサイソガニ 3~20 mm (21)、ユビナガスジエビ 7mm ~10mm(1)、ユビナガホンヤドカリ (1)、ゴカイ sp (1)、ミズクラゲ (1) (同定・計測：石川日出郎、記録：紫穂)。

- ・特記事項：河口干潟のそばにキムチのお店ができました。メンバー数人で早速味見。